



HANAGAKU
Amenity Forum

花との語らいを、もっと自由に、あなたらしく。

花学ニュース

花学アメニティーフォーラムは会員の皆様が創る花を学ぶ団体です。

花学オフィシャルサイト <http://www.hanagaku.com/>

2024 20号

企画・発行／花学アメニティーフォーラム
発行年月日／令和6年9月
編集者・制作／有限会社 創広

会報に関するお問い合わせ先

TEL. (054) 337-1788

[静岡県本部理事校] JEUNO 柴 寿恵
〒424-0901 静岡県清水区市三保 4111
E-mail hana@hanagaku.com



花のアトリエ JEUNO
主宰 柴 寿恵

HP & Blog <http://www.hanajeuno.com/>

花は暮らしの小道具

花を飾ることでその場に彩りと気持ちの豊かさをもたらしてくれます。

花は決して生活の主役ではありません。

絵を飾ったり、置物を飾ったりしますが、花も絵画とか置物のような存在だと思うようになりました。花を小道具と思うことで、物足りない生活の空間、食卓の空間に花を飾ると、その空間に華やぎがまし、気持ちまで豊かになります。

花は脇役であり生活空間に欠かせない小道具!!

私の理想は、一人一人の生活に合わせたお花や、花器を使ってレッスンできること。花をライフスタイルの小道具のようにかるくあしらえること。教える側の覚悟が必要ですが…??



花園美フラワースクール
主宰 鈴木 花園美

持ちよりの草花

から梅雨を思わせる天候が続いています。この夏の暑さは、格別と思います。

雨上がりに見る、草花の緑が、すがすがしく。

やがて季節が、うつろい、枯枝になります。バックに見えるのは、桃の枯枝に折紙で折った桃の花をつけました。持ちよりの草花です。



2024 第55回いけ花展より

花園美フラワースクール
生徒 アトリエ山桜 飯塚 いづみ

5周年記念マルシェに参加

5月24日(金)に、ひたちなか市の”こんどうカフェ”的5周年記念マルシェに参加し、ワークショップを開きました。籠に生花でラウンドのアレンジをレッスンしました。图形を絵で説明してから始めたので、皆さん上手に仕上げました。生憎の暑い日にテントの下だったので、花が傷みそうで心配でした。予約者だけのレッスンになりました。チャリティーで能登半島地震の寄付金に協力したり、出会いがあったり、有意義な一日でした。



花園美フラワースクール
生徒 豊田 光恵

華やかに

令和6年3月2・3日、久々のふれあい酒門まつりが催され、私たちの教室も参加の運びとなりました。日頃の稽古の成果の発表の嬉しい機会です。作品の一例ですが、お祝のデコレーションケーキをイメージしました。直径は30センチ余り、白の洋皿に載せました。メインはカーネーション。八ツ手のつぶつぶの黄色の花がアクセントになりました。まさにいつまでも飾っておきたいケーキです。





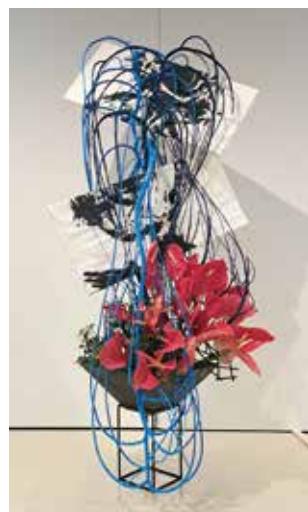
Floral Studio KILA
主宰 佐久間 節恵

HP <http://kila.main.jp> Blog <https://ameblo.jp/fs-kila/>

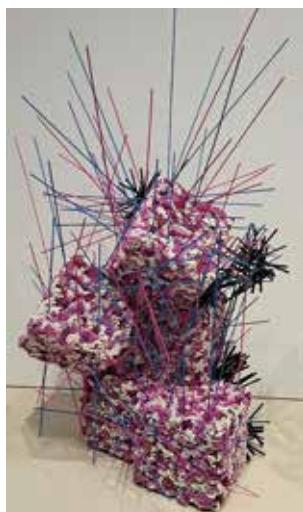
自由で楽しく☆植物を使った造形を学ぶ

当教室では長年、花学アレンジメントと草月いけばなを生徒様方と一緒に学んでいます。最初にフラワーアレンジ、いけ花のWでの体験希望の方が多く、入門後も継続して両方レッスンされる方も少なくありません。アレンジもいけばなも『植物を使った造形表現』と捉え、いけ手の個性を生かす作品ができるよう、楽しみながら学んでいます。

写真は2024年春の草月展に当教室からの出品のうち、アレンジも学ばれている方の作品です。これからも、欲張りお花のスクールとして植物を使っての造形を学び続けたいと思っています。



▲ [主宰] 佐久間節恵



▲ [生徒] 沼田恭子



▲ [生徒] 五嶋やよい



Flower Studio Calla
生徒 大山 幸子

お花と向き合ってる時間、仲間とワイワイできる時間が私は大好きです。

こんにちは。仲間と一緒に月に一度の顔合わせ。挨拶しながら雑談です。さあ今日も始めましょう。楽しい時間の始まりです。先生から材料を受け取り、しばしの間試行錯誤。頭をフル回転!

雑談混じりで始めたアレンジも、いつしか無口になり作品作りに夢中になります。同じ材料、同じ器を使っても作品はそれぞれ別物です。

先生がくださる小花、葉っぱや実物等、その中から自分の作品をより良い物にしようと物色します。これを使うとキレイ、これはイマイチ…

リボンは結び方で表情が変わって作品に華を添えてくれます。それぞれの作品が個性的に変わってきます。

長年の作品で家の中はいっぱいになっていますが、お花と向き合ってる時間、仲間とワイワイできる時間が私は大好きです。



Flower Studio Calla
主宰 佐々木 真由美

HP & Blog <http://ameblo.jp/s-mimi0323777> Instagram [sasaki.mayumi0928](https://www.instagram.com/sasaki.mayumi0928)

お花の教室は私に色々な事を教えてくれました。

お花を始めたのは子育てが終わり、一息が付けるかなあーと言う頃でした。

いざ始まると親の事などが色々出て来て、お花を辞めようかなと思う事もありましたがお花を作る事が大好きなので、何とかここまで続けて来れました。そのお陰で色々な方々と出会う事ができ、色々勉強しなきゃと言う気持ちも湧いて来て、楽しく教室を続ける事が出来ています。

お花の教室は私に色々な事を教えてくれました。人との繋がりや色々事に興味を持って勉強したり、本当に楽しい時間を過ご去るんだなーと実感しました。

これからも楽しく、楽しい時間を作る為にこれからも、もっともっと勉強して行きたいと思います。





スマイル勉強会 【つまみ細工タッセルワーク】

毎年恒例の勉強会 今回は日程調整が上手くいかず全員参加とはいきませんでしたが、インストラクターの石森美紀さんが趣味の一つにしている、素敵なつまみ細工のタッセルをご指南頂きました。年に一度、スマイルメンバーが顔を合わせる機会、いつもお花ではないワークに戸惑いながらも、楽しく真剣に学ぶことができました。

ワーク後は石巻のホテルで会食、美味しいもの頂きながら、落ち着いて座談会を楽しめました。



この1年間の出来事や新しい活躍など日々が話せる範囲で幸せを共有できました。

時間に限りがあるものの、ご調整いただき仙台から石巻にわざわざご参加下さったり、そのまま夜勤勤務へ向かわれた方もいて、この会を大切に思って下さるメンバーに感謝しています。せっかくご縁があった人々、未永く良好な関係で集えたらしあわせです。



フォトウェディング

最近は挙式をせずに写真だけのフォトウェディングが増えているようです。

そんなお二人のためのフォトウェディングブーケは、胡蝶蘭がメインのキャスケードブーケとロイヤルブルーのバラを使ったラウンドブーケ。どちらもアーティフィシャルフラワーです。

末永い幸福を祈って束ねました。



自分らしい道へ

趣味としてアーティフィシャルフラワー レッスンを始めて、2019年より花学のインストラクターを目指して、高橋公美先生の元、和やかで楽しく、時には厳しく指導していただきました。指導後のお茶の時間は私の癒しの時間でもありました。そして無事、インストラクターの資格取得する事が出来ました。

上司の定年退職に、アーティフィシャルフラワーのアレンジメントの作品を贈り、喜んで頂き自分の作品への自信もつき、美しい花材を使ったアレンジメントを通じて、スキルを磨き、新しい技術やトレンドを学び花学の知識を広めていきたいと思います。

今後は、ワークショップ、教室レッスンなど自分らしい道へいつか進めたらと夢みています。



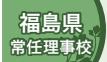
BLoom 花舎
主宰 京増 静枝BLoom 花舎
生徒 伊藤 弓

植物自身(自体)の生命力

昨年の暮に頂いた胡蝶蘭の鉢物は、2～3ヶ月、花を愛で、萎れてきたので、葉元から切り葉だけになってしまったけれど観葉植物として置いておきました。春になり、葉と葉の間から何かが芽吹いて、ついには5輪の花を吹かせました。もう7月だというのに、少しづつ弱ってきましたが今も咲いています。

植物って凄いですね。植物自身(自体)の生命力には驚かされます。

その植物の力を借りて、私たち指導者は色々な作品の表現者となり製作しています。有難いことです。無駄なく、充分に素材を生かし切りたいと考えます。

Flower Design Tiare
主宰 斎藤 まゆみHP & Blog <https://miru.co.jp/tiare/>Flower Design Tiare
生徒 角田 瞳子

ゴールではなくスタート

生花のレッスンでご一緒の方よりお誘いを受け、アーティフィシャルフラワーを始めました。思うように指が動かないワイヤリング、テーピング。何か先が思いやられるようで家で一人練習した日もありました。コースの終了頃には、何とか皆さんに追いつけるようになったかと思います。作品を作る事が楽しい♪その思いで1年一度も休まずレッスンが出来ました。先生の花材の色選びが、いつも素敵で私達の作品がより輝いたと思います。この度、インストラクターの資格を頂きました。これは、ゴールではなくスタートだと思っております。常に「今」を勉強されている先生、時には「面白い!」の言葉しか出てこないとの感想を頂いた事もありました(笑)

また、レッスンのお仲間からいろいろ吸収させて頂き、これからもお洒落な作品を作り出せればと思っております。



自分らしい道へ

さくらの花言葉は「優れた美人」「精神美」と、本棚の奥にあった花言葉の本に書いてあった。何度も読み返し、時代を感じさせる写真が目に焼きついている。誕生日の花というものがあるらしい。私は「ジャスミン」のようだが、「ミモザ」という説もある。誕生月の木は「山桜」のようだ。

人にプレゼントするために花を選ぶ機会が多くなった。相手を思い浮かべて、テーマやシーンをイメージする。誕生祝、結婚祝、就職・退職祝、神仏に供える花…華やか、清楚、癒しとイメージが広がっていく。

誕生花の花言葉にも意味があるのかもしれない。生まれた日に旬を迎え、咲きほこる花とは、特別なご縁があるようだ。花をプレゼントするとき、誕生花を加えて、意味を添えると特別なプレゼントになる。

最近は色合いとともに香も気になるので、ハーブを添えてみる。参考にしているのは、フランス人のローラン・ボニッシュさんだ。彼の色彩感覚は素晴らしい。「香りと花色にこだわり、きれいだと感じる季節を無造作に束ねる。」シンプルな発想から生み出されたフレンチスタイルの美しさがある。贈る人、贈られる人に幸せを感じてもらえるように心を込めているという。



私も「一期一会の思い」で、ひと時の花の輝きを大切にして、感謝を込めて生けていきたい。

Flower Design Tiare
生徒 渡辺 恵美子

毎回楽しく花と向き合っています

花が元々大好きで、部屋に欠かさず飾っていました。もっと上手に花を飾れるようになりたい、と思いレッスンを始めました。

自分が思いつかない花の組み合わせ、型、色合わせを教えていただき、毎回楽しく花と向き合っています。また、花や植物で溢れる素敵アトリエでのレッスンは、学びだけでなく、五感が研ぎ澄まされ心がリセットされる大切な癒しの時間もあります。

アーティフィシャルフラワーにも興味があり、1年間レッスンを受けインストラクター資格を取得することができました。アーティフィシャル・生花それぞれの特徴を活かし、

生活に取り入れて楽しんでいます。これからも花と触れ合う時間を大切に、楽しくレッスンを続けていきたいと思います。

